|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | ○　自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるよう取り扱われているか。  ○　悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができるよう取り扱われているか。 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | ○　人間尊重の精神に基づき、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう取り扱われているか。  ○　人権尊重およびユニバーサルデザインの観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。 |
| ３  内容の程度 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となるよう配慮されているか。  ○　身近な社会的課題を自分との関係において考え、その解決に寄与しようとする意欲や態度を育むよう配慮されているか。 |
| ４  組織・配列 | ○　内容項目の全体の効果的な指導が行えるよう、年間にわたり、また６年間を見通して組織・配列されているか。 |
| ５  創意工夫 | ○　自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されているか。  ○　問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等が適切に取り入れられるよう工夫されているか。 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | ○　学んだことを更に深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | ○　自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるよう取り扱われているか。  ○　悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができるよう取り扱われているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　教材の冒頭に主題となるテーマが示されており、児童が見通しを持ちながら考えられる。また教材末尾にある設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われている。  ○　児童の生活場面で起こるような出来事を扱った教材や、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自分自身との関わりから深く考えることができるよう取り扱われている。 |
| 学　図 | ○　教材の冒頭に内容項目、主題、発問を記載しないことで、児童自身が自ら問題に気付くことができる。また、分冊『まなび』にある「かんがえよう」「みつめよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われている。  ○　児童と同じ年頃の人物を描いた教材や、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自らの関わりから深く考えることができるよう取り扱われている。 |
| 教　出 | ○　教材の冒頭に内容項目のキーワードと導入の問いかけが示されており、児童が見通しを持ちながら考えられる。また、教材の末尾にある発問例「考えよう」「深めよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われている。  ○　児童と同じ年頃の人物を描いた教材や、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自己の体験や経験に照らし、深く考えることができるよう取り扱われている。 |
| 光　村 | ○　教材の冒頭にテーマと学習内容に関わる自己の考えや経験等の問いかけが示されており、児童が見通しを持ちながら考えられる。また、教材末尾にある「考えよう・話し合おう」での心情を問う問いや役割演技を通して、考えを深められるよう取り扱われている。  ○　児童と同じ年頃の人物を描いた教材や、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自分に引きつけて深く考えることができるように取り扱われている。 |
| 日　文 | ○　教材の冒頭に内容項目と主題が示されており、児童が見通しを持ちながら考えられる。また、教材末尾にある「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われている。  ○　児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材や、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自らの経験や関わりと重ね合わせながら深く考えることができるよう取り扱われている。 |
| 光　文 | ○　教材の冒頭に主題や発問が示されており、児童が見通しを持ちながら考えられる。また、末尾の「まとめる」「広げる」の設問例を通して児童の考えを深められるよう取り扱われている。  ○　実話に基づく教材や親しみやすい漫画・アニメ、さまざまな分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、共感しながら児童が深く考えることができるよう取り扱われている。 |
| 学　研 | ○　教材の冒頭に主題を記載しないことで、児童が主体的に問題意識を持つことができるよう取り扱われている。また、教材末尾にある「考えよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われている。  ○　児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材や、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。 |
| 廣あかつき | 〇　教材の冒頭に主題を想起させるキーワードを、教材末尾の「学習の道すじ」では、めあてを示し、児童が見通しを持ちながら考えられる。また、分冊『道徳ノート』の問いを通して、考えを深められるよう取り扱われている。  ○　児童と同じ年頃の人物を描いた教材や、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自己の体験や経験に照らして児童が深く考えることができるよう取り扱われている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | ○　人間尊重の精神に基づき、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう取り扱われているか。  ○　人権尊重およびユニバーサルデザインの観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、公害問題や国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |
| 学　図 | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、世界人権宣言や国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |
| 教　出 | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、アイヌの人々、国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |
| 光　村 | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、世界人権宣言や国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |
| 日　文 | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、世界人権宣言、国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |
| 光　文 | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |
| 学　研 | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、人種差別や国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |
| 廣あかつき | ○　様々な教材を通して人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、６年では、国際協力、障がいのある人の生き方、平和などについて取りあげられている。  ○　人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ３  内容の程度 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となるよう配慮されているか。  ○　身近な社会的課題を自分との関係において考え、その解決に寄与しようとする意欲や態度を育むよう配慮されているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、低学年では、動物を登場人物とした物語教材、高学年では中学生になるにあたって、自己の生き方について考えることを促す教材が取りあげられるなど配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われており、扉ページで「いじめのない世界へ」と題したメッセージを設け、直接いじめを扱った教材と関連する教材を組み合わせて学習することにより、いじめをしない、許さない心を育むよう配慮されている。 |
| 学　図 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、　１・２年では動物を登場人物とした物語、３・４年では児童の生活場面、５・６年では人物の生き方の教材を取扱い、児童により考えやすいよう配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われており、いじめ問題を直接取り上げた教材やいじめ問題に発展しかねない生活場面に注目した教材で学びを深め、いじめを許さない・起こさない意欲や態度を育むよう配慮されている。 |
| 教　出 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、１・２年では動物を登場人物とした物語、３・４年では児童の生活場面、５・６年では人物の生き方の教材を取扱い、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われており、「考えよう」「深めよう」では、自分の思いや考えをまとめたり、発表したりしながら、自分との関係において考え、いじめをしない、許さない意欲や態度を育むよう配慮されている。 |
| 光　村 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、１・２年では動物を登場人物とした教材、３・４年では漫画形式の教材、５・６年では悩みながら行動する人の姿などの教材を取扱い、児童が自ら考えることができるよう配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われており、善悪の判断や相互理解・寛容等を系統的に考えることに加え、学年の発達段階に応じたコラムにより、いじめをしない、許さない意欲や態度を育むよう配慮されている。 |
| 日　文 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、１・２年では動物を登場人物とした物語、３・４年では児童の生活場面、５・６年では人物の生き方の教材を取扱い、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われており、いじめについての正しい認識と、多様な道徳的価値に支えられた、いじめを「しない、させない、見過ごさない」心が育まれるよう配慮されている。 |
| 光　文 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、　全学年で、児童の思考に寄り添うキャラクターとして同じ人物が成長しながら登場し、児童が自らの成長を重ねながら教材に向き合うことができるよう配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われている。直接いじめを扱ったり、関連する内容を扱った教材により、児童自身の問題として考えるとともに、登場するキャラクターと一緒に、いじめの防止に主体的に関わる態度を育むよう配慮されている。 |
| 学　研 | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、全学年の表紙に登場する同じ人物が、各学年の教材にも登場し、児童が自らの成長と重ねながら教材に向き合うことができるよう配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われており、自他の生命を尊重し、他者とともによりよく生きることについて、多面的・多角的に考え、いじめをしない、許さない意欲や態度を育むよう配慮されている。 |
| 廣あかつき | ○　発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、１・２年では動物を登場人物とした物語、３・４年では児童の生活場面、５・６年では人物の生き方の教材を取扱い、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。  ○　全学年でいじめについて取り扱われている。「考えよう　話し合おう」で、問題の解決にむけて活動することを通して、いじめをしない、許さない意欲や態度を育むよう配慮されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ４  組織・配列 | ○　内容項目の全体の効果的な指導が行えるよう、年間にわたり、また６年間を見通して組織・配列されているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　各学年とも、教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年で重点的に取りあげる内容項目を設定し、教材を複数配置している。 |
| 学　図 | ○　各学年とも、『きづき』と『まなび』の２冊で構成されている。『きづき』では教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。『まなび』は、内容項目別にワークシートとして構成され、自分の考えを書く欄などが設けられている。 |
| 教　出 | ○　各学年とも、教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において「とくに大切なこと」として目次に示している重点内容項目については、教材が連続して組織・配列されている。 |
| 光　村 | ○　各学年とも、教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、１年間を３つのまとまりに分けて、それぞれ４つの視点からテーマを設定し、テーマに関連した教材を重点的に配置している。 |
| 日　文 | ○　各学年とも、『本冊』と『道徳ノート』の２冊で構成されている。『本冊』では教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。『道徳ノート』は、教材ごとに構成され、自分の考えを書く欄などが設けられている。 |
| 光　文 | ○　各学年とも、教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年で重点的に取りあげる内容項目を設定し、教材を複数、連続して配置している。 |
| 学　研 | ○　各学年とも、教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、２学年ごとに重点テーマを設定し、それに関連する内容項目の教材を連続して配置している。 |
| 廣あかつき | ○　各学年とも、『本冊』と『道徳ノート』の2冊で構成されている。『本冊』では教材が４つの視点でバランスよく組織・配列されている。『道徳ノート』は、内容項目別に構成され、自分の考えを書く欄などが設けられている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ５  創意工夫 | ○　自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されているか。  ○　問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等が適切に取り入れられるよう工夫されているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　教材ごとの「学習の振り返り」、学期ごとに学習を振り返り自分の成長を見取る「学習のまとめ」が設けられ、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　問題解決的な学習を取り入れた「問題を見つけて考える」や、体験的な学習を取り入れた「出会う・ふれ合う」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。 |
| 学　図 | ○　教材ごとの学びを振り返る「つなげていこう」や、年間２回の「ふりかえろう」が設けられ、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　各学年冒頭で授業の基盤となる「学級づくり」のワークを配置するとともに、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた「やってみよう」や「つなげていこう」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。 |
| 教　出 | ○　学期ごとに学習で心に残ったことや１年間の振り返りを記入する「学びの記録」が設けられ、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　「気づく」「考える」「深める」「つなげる」といった問題解決的な学習の仕方が紹介されており、「やってみよう」では登場人物の役になって演じる体験的な取組みができるよう工夫されている。 |
| 光　村 | ○　教材ごとや学期ごとに自らの学びを振り返る「学びの記録」が設けられ、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　教材末尾の「考えよう・話し合おう」「つなげよう」では、問題解決的な考えにつながるような問いかけをしている。また「演じて考えよう」では、役割演技の手立てが示され、体験的に学習できるよう工夫されている。 |
| 日　文 | ○　『道徳ノート』では、教材ごとの振り返りと巻末に「道徳の学習を通して学んだこと」が設けられ、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　「学習の手引き」や「心のベンチ」では、教材と関連した学びの参考例や活動例などが示されており、児童が問題解決的な学習や体験的な学習ができるよう工夫されている。 |
| 光　文 | ○　「学びの足あと」が設けられ、児童が教材ごとの記録を積み重ねることによって自らの学びを振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　巻頭のオリエンテーションで問いをもって学習に臨むことを促している。また、「まとめる」「広げる」では、道徳的行為の良さや難しさを体験する活動や、生活場面で実際にやってみることを提示したりするなど、体験的な学習が取り入れられるよう工夫されている。 |
| 学　研 | ○　巻頭に「自分のことを書いてみよう」、巻末に「心の宝物」のページを設けることで、児童が一年間の学びを振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　「深めよう」で問題解決的な学習活動を取り入れたり、「やってみよう」で教材の内容をもとに体験的な学習活動を取り入れたりすることができるよう工夫されている。 |
| 廣あかつき | ○　『道徳ノート』では、内容項目ごとに感じたことや考えたことを書くページや、「心のしおり」で、自らの学びを振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。  ○　「考えよう　話し合おう」では、児童が自らの体験と重ねられるように促したり、役割演技を促したりするような問いかけがあり、問題解決学習や体験的な学習が取り入れられるよう工夫されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | ○　学んだことを更に深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されているか。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　巻末付録の「つながる・広がる」では、道徳で学習したことを日常生活の中で実践することによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。 |
| 学　図 | ○　教材「まなび」の末尾にある「コラム」では、各教材で学んだ内容について更に深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。 |
| 教　出 | ○　「まなびリンク」のウェブサイトには、教材と関連した資料などが示され、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。 |
| 光　村 | ○　「つなげよう」では、関連する他教材・本の紹介や他教科との関連、調べ学習のテーマ等が示され、学んだことを更に深められるような配慮がされている。また、教材に関連したコラムや資料があり、学んだことを自己の課題として心にとどめることができるよう配慮されている。 |
| 日　文 | ○　「心のベンチ」では、道徳的価値をより深く、考えられるよう、教材と関連した内容や活動を取り上げ、学んだことを更に深く心にとどめ、これからの思いや課題について考えることができるよう配慮されている。 |
| 光　文 | ○　「みんなでやってみよう」や「ことばのたからもの」などのさまざまなコラムを通して、学んだことを更に深く心にとどめたり、各教材の「広げよう」において、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。 |
| 学　研 | ○　「つなげよう」で、教材での学習をもとに自己を見つめ、自分のよりよい生き方について考えたり、「広げよう」のページで、教材の関連情報に触れ、視野を広げたりすることができるよう配慮されている。 |
| 廣あかつき | ○　『道徳ノート』には、授業で活用できる補助資料や教材が掲載され、『本冊』の「学習を広げる」では、教材に関連した知識や価値について学んだことを更に深く考えることができるよう配慮されている。 |